

「動労千葉破壊の全国オルグ」の総括と方針

無責任きわまりない「本部」の

第一〇四臨中の焦点
『総括』その1

「全国オルグ」は、一体、どんな成果が
あったというのか? 『本部』の敗北は明らか

オルグ前 第二次全国オルグは一四〇〇名の千葉地本の組合員に対して……最終的な詰めを行う目的をもって実施することとした。具体的には一四〇〇名の組合員に対して、『動労組合員確認証』に署名することを求め、さらに組合費納入の手続きを行なうことになっている。『いま具体的な執行部の確立という再建の段階に突入している』(4/28付組織部発電話連絡第五三五号)

オルグ後 四日間のオルグは何らの成果もなかった。「千葉に入れたこと自体が偉大な成果だった」(5/1 オルグ団の総括) 「(「本部」側の)支部結成と地本執行部の確立にむけて一日も早く取

第一〇四臨中の焦点
『総括』その2

次々と勝ちとられた動労千葉「団結署名」と「支部結成」——動労千葉の勝利は明らか

四月、「本部」暴力集団は、あらゆる卑劣な破壊攻撃をもって、われわれの「団結署名」と「各支部結成大会」をつぶすことに全力をかたむけたのであった。

彼らは何と言っていたのか?!
オルグ前 「分裂組合」『千葉動労』が要請する『団結署名』はデッチ上げ組合の組合員登録を意味するものであり、絶対に署名しないで下さい。……(4/7「要請書」林大鳳委員長(公印))

だが、その結果はどうであったのか?!
動労千葉は、全員の血と汗を流してこの決戦に完全に勝利した。われわれは、誇りも高く「事実をもって」答える!!

- ① 四月一八日・津田沼支部結成。「団結署名」|| 総数一六一名中一四九名完了、なお続行中。
- ② 四月一九日・館山支部結成。「団結署名」|| 総数一〇五名中一〇三名完了、なお続行中。
- ③ 四月二一日・新小岩支部結成。「団結署名」|| 総数一八一名中一六六名が完了、なお続行中。
- ④ 四月二四日・千葉運転区支部結成。「団結署名」|| 総数一二八名中一一一名が完了、なお続行中。
- ⑤ 四月二五日・木更津支部結成。「団結署名」||

本部「暴力集団の引きまわす」に今こそ断をせよ!

このような大破産にもかかわらず、何らの成果がないため、「本部」はなしくずし的に「七月全国大会までには……」と言いつつ、何の展望もなくだらだらとまた連日動員をくりかえし、更に引きまわそうとしている。(電話連絡五三八号の指示) 全国の心ある組合員の皆さん! 「第一〇四臨中で、これ以上の引きまわしに断を下し、「動労大改革」へむけ、共に奮闘していかうではないか!

り組みをしていかなければならないことがはっきりしてきている。(※その通り! 焦らねば……!!) (だがしかし、その展望は) 簡単にはいかな……」(5/7組織部発電話連絡第五三八号)

(第二次までに) 合計二万二千名以上も動員しながら、(電話連絡第五三五号で自称) 一体どのような「成果」があったというのか? 答えははっきりしている。「本部」暴力集団の「壮大なゼロー」ならざる敗北でありわが動労千葉一四〇〇名の勝利である。「正義」が「不正義」を實力でうち破った当然の帰結である。

- 総数四六名中四五名が完了、なお続行中。
- ⑥ 四月二六日・勝浦支部結成。「団結署名」|| 総数一四六名中一四六名で一〇〇%完遂。
- ⑦ 四月二七日・幕張支部結成。「団結署名」|| 総数二〇七名中二〇五名が完了、なお進行中。
- ⑧ 五月二日・成田支部結成。「団結署名」|| 総数一四一名中一三六名完了、なお続行中。
- ⑨ 蘇我・佐倉・銚子、団結強化のために奮闘中!

ところが(!!) ほぼ大勢の決した四月二十八日ごろになると「本部」は枯息なすりかえと、見えすいたデマを流し出したのである。**オルグ後**

すりかえ 「すでに一部の組合員のなかで行なっている『千葉動労』の団結署名は、組合員登録としては認められないものです」(4/28 林執行委員長名による「要請」文)
「デマ」しかしこの間のオルグ活動を通じて中野一派を支持する組合員は一部にも満たない数にすぎないのである。(5/7 電話連絡第五三八号)

もはや、何の説明も不要であろう。事実は真実を語るかである。「本部」の指導の完敗である。